

横浜 コーディネーター キャンパス

2023年度 報告書



横浜コーディネーターキャンパスとは

横浜市内の若者×地域のコーディネートに関わる公共施設やNPOのコーディネーターが、分野横断的につながるプラットフォームです。

若者を軸として、様々な人が活躍できる地域土壌を耕していくこと、そして、若者と地域をつなぐコーディネーターの認知度と価値を高めることを目指します。

3つの機能



情報や事例の蓄積、共有

若者×地域をつなぐ事例や情報を蓄積し、共有する場を作ります。



実践と発信の場づくり

若者×地域をつなぐノウハウや事例を持ち寄り、コーディネーター同士が学び合う場をつくりま



学び合いの場づくり

若者×地域の活動を実践しながら、その中で出てきた価値や課題を発信していく。

横浜コーディネーターキャンパスの全体像

2022年度 キャンパスの立ち上げ。実践と発信の場づくりに力を入れました。



キックオフ



キックオフイベントに78名のコーディネーターが集まりました！

伴走支援



磯子区と保土ケ谷区で伴走支援学生ボランティアが沢山集まりました！

報告会



学生・コーディネーターが企画の振り返り
学生×地域の意義について報告しました！

2023年度 2年目はコーディネーターの集まる仕組みづくりに力を入れました。

数時間ではまともきらず...
勉強会の振り返りも実施！

キャンパス初の定例会
多くのコーディネーターが集結！



7月 定例会

8月 ゼミ定例会

1月 ゼミ定例会



12月 第1回勉強会

ゲストを呼び、学生が集まる場所についてトークセッション！

地域団体がプレゼン！
学生の生の声を聞きました。



2月 第2回勉強会



3月 ゼミ定例会

今年度最後のゼミ！
横浜市こども青少年局の方からお話いただきました。

ゼミ（若者×地域をつなぐコーディネーターの連絡会）

分野やエリアに限定せず、多様なコーディネーターが集まり、若者×地域をつなぐ事例や情報を共有する場としてゼミ（連絡会）を立ち上げ運営を行ってきました。

ゼミの特徴



登録制

施設、NPO、行政など関心のあ
るコーディネーターの皆さまに
ご登録いただいています。

現在 **43** 名の方がゼミに登録



定例会の実施

ノウハウや事例の共有、意見交
換の場として対面の定例会を実
施しています。

定例会実施回数：**4** 回
定例会総参加人数：**72** 名



Slackの活用

Slackを通して日常的に地域活動
の情報交換や、相談ができる場
所を作っています。

情報発信数：**52** 通

ゼミの定例会について

第1回

日時：8月31日（木）16:00-18:00

場所：横浜市社会福祉協議会

参加者：13名

メンバーの学生コーディネートの事例を議題に、「どこがよかったか」や「自分だったらどうするか」を考え、共有しました。同じコーディネーターでも、窓口によって寄せられる相談内容や対応が異なることが分かりました。施設の理解にもつながり、メンバー同士の相互理解が大事だと改めて気付かされました。



第2回



日時：1月9日（火）16:00-18:00

場所：ほどがや市民活動センターアワーズ

参加者：18名

ゲスト：横浜市市民局市民協働推進課 加藤慎介氏

横浜市市民局さんから市民局の事業や方針についてお話いただき、行政事業について知る良い機会となりました。その後は、とつか区民活動センターさんから「学生にボランティアを継続してもらうには」という困りごとを共有いただき、学生とコーディネーター双方で意見を出し合いました。

第3回

日時：3月5日（火）16:00-18:00

場所：横浜市陸地域ケアプラザ

参加者：18名

ゲスト：横浜市こども青少年局 森脇美也子氏

横浜市こども青少年局さんから局の理念や事業範囲についてお話しいただき、行政との連携などについて質問が飛び交いました。グループトークでは、次年度のキャンパスについて話し合い、コーディネーター同士が連携するための意見が寄せられました。



(ゼミ登録メンバー) 2024年3月末現在

■市民活動センター

都筑区民活動センター、ほどがや市民活動センターアワーズ、とつか区民活動センター、港北区区民活動支援センター

■青少年施設

横浜市青少年育成センター、あおばコミュニティ・テラス

■社会福祉協議会

横浜市社会福祉協議会、横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会

■地域ケアプラザ

横浜市富岡東地域ケアプラザ、横浜市本牧和田地域ケアプラザ、横浜市睦地域ケアプラザ、横浜市日下地域ケアプラザ、横浜市並木地域ケアプラザ、横浜市下田地域ケアプラザ、横浜市十日市場地域ケアプラザ、横浜市中川地域ケアプラザ、横浜市原宿地域ケアプラザ、横浜市下瀬谷地域ケアプラザ、横浜市日野南地域ケアプラザ、横浜市東永谷地域ケアプラザ、横浜市川島地域ケアプラザ

■NPO他

野毛坂グローバル、認定NPO法人横浜移動サービス協議会、NPO法人まち×学生プロジェクトplus、株式会社HITOTOWA、松栄建設株式会社、NPO法人プラットファーム、NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ、NPO法人アクションポート横浜、CanVas

■行政

横浜市市民局、横浜市こども青少年局

ゼミの成果とまとめ

①様々な分野のコーディネーターがゼミに参加

ゼミを立ち上げ、様々な分野のコーディネーターが参加してくれました。初年度なので、コーディネーター同士の相互理解がメインになりましたが、こうした場を定期的にかけていく価値があることがわかりました。

②コーディネーター同士の日常的な情報共有・意見交換

slackを立ち上げ、日常的な情報交換の場を作ることができました。対面の情報交換の場はどうしても時間的な制約があるので、日常的に情報共有ができ、ゼミメンバー同士で連絡が取れる場があることは重要だと思っています。

③コーディネーターの意見交換の場の定例化

今年度は3回でしたが、定例会を実施することができました。ケースワークでお互いのスキルや姿勢を深めたり、行政の方にお越しいただいてお話をお聞きしたことで、異分野への理解も広がりました。

エリアや分野が異なるとコーディネーター同士が繋がる機会が限られていることも共有できたので、次年度以降はより発展的な内容を深めていきたいと思っています。



横浜市原宿地域ケアプラザ
小林潤一氏

最初は漠然と地域活動に若者をと考えていましたが、学生の想い、地域の想いをつなぎ、コーディネートできるような取り組みを行っていききたいと思います。



とつか区民活動センター
中嶋伴子氏

学生スタッフの進行がいつも良い感じで、自然体で参加できました。内容的には大学生のリアルな生の意見を聞けたり、多様な参加メンバーの方の取り組みを知ることができ、今後に活かせるヒントを沢山いただきました。

勉強会（コーディネーターのスキルを深める学びの場）

【地域の未来を若者と共につくる コーディネートのロジックモデルを考えよう】

若者と地域が繋がらない、その背景にはどんなミスマッチがあるのか。今回はロジックモデルを用いて、その背景の課題を考えるワークショップを実現しました。



実施概要

日時：7月6日（木）13:00-18:00
場所：横浜市青少年育成センター
参加者：23名
進行：奥井利幸氏

詳細の
報告



NPO・行政・学生・地域の自治会など、多様な方々が集まり、ロジックモデルを通じて「地域活動に学生が来ないのはなぜなのか」をテーマに原因を分析しました。

整理編の2回目も翌月に実施し、問題の構造を理解することの重要性を実感できました。また立場の違うメンバーで議論することで課題に対する共通認識を持てたことが大きな学びでした。



野毛坂グローバル
奥井利幸氏

ロジックモデルは万能ではありません。論理的でなくても、暗黙知（個人の知見や勘）の方が実は確かなことがあります。しかし、活動や目的を関係者で共有するためにはとても意義あるものであったと思います。

【学生×地域の事例を学ぶ勉強会 ～「学生が集まる居場所」ってどんなところ？～】

学生が集まりやすい・集まりくなる地域の居場所はどこな場所なのか。今回は東京都世田谷区の「タタタハウス」・横浜市金沢区の「せとさんち」の2ヶ所の事例からコーディネートのポイントを学びました。



実施概要

日時：12月19日（火）18:30-20:30
場所：泰生ボーチ
参加者：34名
ゲスト：
高野雄太氏（おやまちプロジェクト）
大関羅捺氏（せとさんち）

今回の勉強会では、居場所を運営するNPOや企業の方が集まり、意見交換をすることができました。トークセッションでは活動における「ぶっちゃけ話」を聞くことができ、そこから学生を巻き込むポイントを探ることができました。

2つの事例から、学生が集まる拠点は、「やりたい」を実現する場所であることが共通のキーワードとして挙がり、そうした場や考え方を地域にも広げていく重要性を感じました。

詳細の報告



大倉山おへそ
小松由希子氏

居場所づくりを目指す学生の皆さんの思いに触れる事ができ、このひたむきさに経験値が加わっていくのだと思うととてもワクワクしました！リアルなつながりの良さを世代問わず共有できた、とても有意義な時間でした。

【学生と考える！魅力的な地域活動 ～地域の活動を学生目線でブラッシュアップ！～】

地域の団体の皆さんからよく聞く、「学生に協力してもらいたいと思ってなかなか集まらなくて…」という声。今回はそんなお悩みに対して、学生の皆さんに意見をもらいながら、若者世代が参加したくなる活動を考える勉強会を開催しました。



活動概要

日時：2月27日（火）14:00-16:00

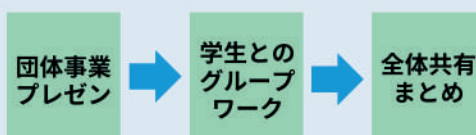
場所：横浜市社会福祉協議会8階

参加者：28名

ゲスト：学生アドバイザー10名

登壇団体：横浜市原宿地域ケアプラザ
保土ヶ谷区社会福祉協議会
都筑区民活動センター

当日の流れ



今回は3団体の方にプレゼンをいただき、グループに分かれ、学生アドバイザーとの対話の中から、どうしたらより若い世代が参加しやすいかを話し合いました。

質問の中には、「学生を募集するにはどうすればよいのか」というものがあり、学生からは「チラシの見やすさや貼る場所を考えてより効果的に見てもらう」や「大学のゼミなどから呼んでみる」といった意見が出ました。「学生がアドバイスをする」というのは初めての試みでしたが、とても有意義な時間となったのではないかと思います。

詳細の報告



＊学生アドバイザーはボランティア活動を経験してきた大学生9名に協力いただきました。

グループで出た意見

団体からの悩み

- ・魅力を感じるか
- ・学生を集めるにはどうしたらいいか
- ・継続的に学生に参加してもらうにはどうしたらいいか

・大学と連携して広報してみる、まちの掲示板に見やすさ、場所などを考慮して募集をするのはどうか。

・学生に活動内容を説明する時、活動の具体性と学生の自発性のバランスを考えてみるのはどうか。

学生の意見からわかる地域の課題点

- ・どう学生と「接点」を作ればいいのか
- ・どう学生を「受け入れ」るか
- ・どうしたら学生に「継続」してもらうか

・学生のプラットフォームを作るのはどうか、居場所があることで活動を通してまた来てもらえるのでは？

参加者の声



学生アドバイザー
高久綾花氏

「学生はどこにいるの？」「何から情報を得るの？」という問いが飛び交う中で、学生と地域の団体が思っている“普通”を見つめ直す時間でした。「学生」と一括りにはできないそれぞれの希望や思いを、どのように活動へと結びつけるかを考える、貴重な機会になりました。



登壇団体
都筑区民活動センター
藤原明子氏

企画への前向きなアドバイスだけでなくボランティアの探し方など学生の普段のことも聞ける貴重な場でした。さらに学生を巻き込む企画を考えていきたいです。

※イラストは都筑区民活動センター 公式キャラクター モモちゃん

地域ケアプラザ分科会 地域交流研究会 プロジェクトへの参加について

地域交流研究会「若者×地域」プロジェクトアドバイザーとして出席（12CPが参加）

「若者を巻き込むにはどうしたらいいのかわからない」、「若者は何を考えているのだろう」といった悩みを抱えるコーディネーターが学びあえる場にアドバイザーとしてアクションポータル横浜のメンバーが同席しました。

プロジェクトでの活動

- ・ケアプラザコーディネーターの意見交換
- ・事例発表への参加
- ・NPO団体への見学訪問
- ・事例検討



横浜コーディネーターキャンパスの延長でこうした活動に参加することで、連携の幅やコーディネーターが集まる仕組みを作る上で必要な繋がりを作ることができました。

次年度に向けて

1) ゼミの定例化と既存ネットワークとの連携

今年度、多様なコーディネーターが集まるゼミを立ち上げることはできましたが、一方で、各分野やエリアごとのコーディネーターネットワークもあることがわかりました。次年度はそうした既存ネットワークとの連携を模索したいです。連携することで、より多くのコーディネーターの参加や価値の最大化を図りたいと考えています。

2) 勉強会のブラッシュアップ

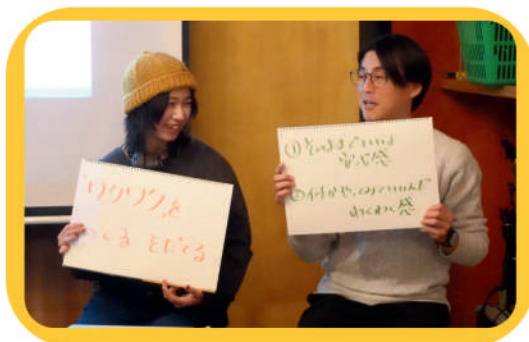
今年度も様々な勉強会を開催しましたが、特に学生目線で地域活動への魅力を考えるワークショップは非常に魅力的でした。今後はこの勉強会のテーマやエリアを絞るなど、様々なパターンでの開催ができないか、パッケージを検討していきたいと思います。

3) 現場でつながるプロジェクトも検討したい

ネットワーク型の活動だと勉強会や定例会になりがちですが、コーディネーターの見せ場はやはり現場だと思います。例えば、そうした現場と学生を繋ぐなど、何か新しいアクションも考えていきたいです。

運営メンバーの皆様

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| ・野毛坂グローバル 奥井利幸氏 | ・横浜市社会福祉協議会 黒川友希子氏 |
| ・あおばコミュニティ・テラス 大久保智弘氏 | ・横浜市社会福祉協議会 日暮悦明氏 |
| ・ほどがや市民活動センターアワーズ 北川有紀氏 | ・横浜市社会福祉協議会 成田早紀氏 |
| ・横浜市青少年育成センター 南太貴氏 | |



ホームページも
是非ご覧ください。
市内のコーディネーター図鑑や
コーディネート事例
掲載中！



ゼミメンバーも
募集しています！
ぜひご参加
ください。



横浜コーディネーターキャンパス 2023年度報告書

発行年月：2024年3月

発行者：NPO法人アクションポート横浜

執筆：高城芳之、小川楓人

この冊子は、横浜市社会福祉協議会よこはまふれあい助成金の支援により作成しました